65歳から始めたバイオリン

印南　茂さん

（緑ヶ丘中町）

「北欧の森の音楽会」で演奏する印南さん

印南茂（いんなみ・しげる）さん（69）は、若い頃からクラッシック音楽が大好きでした。特にバイオリンを弾いてみたいと思っていましたが、忙しくて機会がありませんでした。

やがて、65歳で会社をリタイアし、毎日を何かでうめないといけないと思っていたとき、「バイオリンを弾きたい！」という思いが募ったそうです。

しかし、まちの中にある音楽教室は今までバイオリンを触ったことのない印南さんにとっては、敷居が高くて踏み入ることが出来ませんでした。

そんな時、タイミング良くラブリーニュースにフィドル（バイオリン）教室の募集案内があり、初心者でも入りやすそうなので迷わず飛び込んだそうです。

感激の初舞台

初めて音楽の世界に飛び込み、新たな出会いを楽しみながらバイオリンの練習に励んでいた印南さんの初舞台はなんと、教室に入ってわずか半年後でした。

フィドル教室では新人さんが一番前で演奏するようになっていて、後ろから上級生の美しい音色が聞こえてくるので、新人の印南さんでもその音を聞きながらとても気持ちよく弾けたそうです。

楽しく繋がって！演奏会

伝統音楽教室とフィドル教室の皆さん

バイオリンが弾けるようになった印南さんは、弦楽アンサンブル同好会の「アンサンブルトゥッティ」にも入りました。

千代田公民館でのアンサンブルトゥッティの演奏会にお邪魔すると、真剣に楽譜を見つめる印南さんの姿がありました。

演奏会が始まると印南さんのユーモアを交えた曲目紹介を仲間の皆さんはにこやかに聞いていました。とても素敵な音楽会でした。

アンサンブルトゥッティの演奏会（千代田公民館活動展）

皆で弾けば怖くない

最後に印南さんは「バイオリンが弾ける喜びと共に、音楽で繋がりあえた仲間と演奏し、共に楽しめる事が今の私にとっては一番大きな喜び」と語ってくれました。

（松下　朝子）

◇

「トゥッティ」とはイタリア語で「みんなで／一緒に」と言う意味で、初心者から上級者まで、アンサンブル演奏することを楽しみにしている会です。年に数回、高齢者施設や公民館の演奏会に出演しています。

【アンサンブルトゥッティ】
千代田公民館
第2第4火曜日午前

【伝統音楽教室】
フィドル教室
ラブリーホール
月2回　金曜日の夜